

総社市とAMD A 栃木に職員派遣 水害の被災者支援へ

シェア

ツイート

関東・東北水害で被災した栃木県日光市を支援するため、総社市と国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市）は12日、合同で職員ら4人を派遣した。

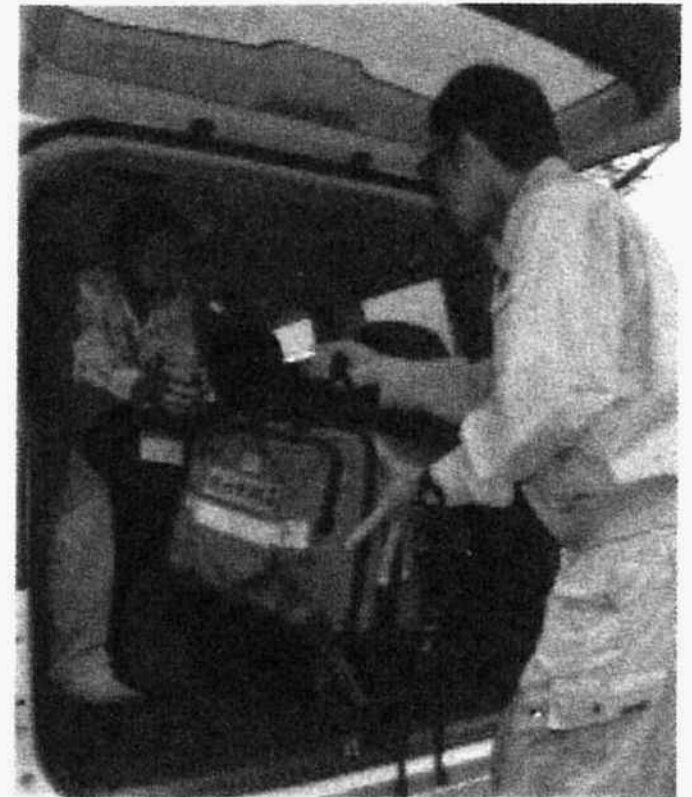
総社市役所前で市職員3人とAMD A調整員1人の出発式があり、AMD Aグループの菅波茂代表が「総社から駆け付けたことが被災者を励ますことにつながる」とあいさつ。代表して市総務課の藤原直樹課長補佐が「甚大な被害が各地で出ている。連携して支援したい」と述べた。

岡山空港を出発した4人は12日中に日光市に入り、同市の求めに応じて支援活動を展開する計画。風呂に入れない被災者のために体を拭くウェットティッシュやばんそうこうなどを持参して配る。14日まで3日間程度の活動を予定。

日光市では男性1人が死亡したほか、土砂災害が発生している。

総社市とAMD Aは2009年に連携協定を結んでおり、合同支援活動を行うのは昨年の広島土砂災害などに続き6回目。総社、日光両市長に交流があったことから派遣要請を受けた。

(2015年09月12日 12時57分 更新)



栃木県日光市支援のため、救援物資を車に積み込む総社市職員ら

 [動画を見る](#)